

大川隆法の守護霊宣言

担当:石田昭 2015年3月24日

- 1 現行憲法には「国民主権」の根拠が示されていない。元になったアメリカの憲法は「人間は神によって作られた存在、だから、みな平等」と書いてある。天皇が人間宣言した時点で、神と切り離されており、欠陥憲法。国家は一旦消滅している。新国家の建設が必要。
- 2 憲法には「信教の自由」が定められているが、制約条項が付いている。一方で「報道の自由」は制約条項がなく、「報道しないこと責任」も規定がない。マスメディアという特権階級が「神」を演じている。
- 3 今の憲法は日本を「神なき国家」にし、「日本人としての魂の尊厳」を奪おうとしている。戦勝国アメリカが中心となって押し付けた「報復憲法」である。 *日本弱体化戦略*
- 4 憲法の平和主義とは「戦勝国」側の「利益」を守る意味での平和に過ぎない。「日本だけ何の戦力も持たない事が世界の平和につながる」という考えは自虐史観そのものである。
- 5 幸福実現党が生まれなかったら、マスコミの多数は「中国との友好」という方向で日本の活路を見出そうとしていたと思われる。 *だから、2009年の立党は危機一髪だった。*
- 6 ソ連に代わって中国が同じことを、今やろうとしている。神仏がその前に立ちはだかっている。
- 7 「中国的価値観」の中には、天上界を地獄界に変えようとする勢力が働きかけているという事を明確に申し上げておきたい。 *カンダハール、ヤハウェーなどの働きかけ？*
- 8 中国は一部の指導階層が圧倒的多数を押しつづける体制であり、自分達の欲望のためには他国を侵略しても「当然」と言う考え方である。 *白人優位の植民地政策と同じ。*
- 9 神仏の守りたる、この日本の国が、悪魔の支配下に入る事は、断じて許すことができない！これが幸福実現党の立党趣旨である。 *皆に無理を言っているが、危機だから・・・*
- 10 最終目標は「仏国土ユートピア」の実現であるが、そう簡単にできるものではない。見果てぬ夢であろうが、延々と努力していく事が大事である。 *神産巢日神の思想も同じ*
- 11 アメリカは超大国とは言うものの、「世界宗教の祖師」、「哲学の祖」、「世界的思想の祖」を生み出していない。アメリカの思想は「人類の知的遺産」の全てを包含するものにはなっていない。アメリカ的なものだけでは足りない。日本のような、神仏の根本の思想を持ちたる国が、自由の国として繁栄することが大切。 *仏教、儒教など取り入れた国*
- 12 「宗教革命」が終わってない段階で、次の「政治革命」も同時にやっている。この二重の革命をやらんとしていることが困難を来している理由である。 *でも国家の危機だから*
- 13 「宗教革命」が未完のため、宗教は「基本的人権」を守るという程度の仕事で、政治に利用されている。本来は宗教の理念を具体化するために政治があるはず。宗教理念がないと結果的には「左翼思想」になる。 *政治と宗教の関係が本末転倒している。本は宗教。*
- 14 安倍総理に足りないのは「哲学」、「宗教」、本来の神仏の心を映す鏡が曇っている。
- 15 大川隆法が日本に生まれた三つの理由
白人による「植民地支配の歴史修正」：白人優位主義の歴史はあまりにもむごい。「神仏が黙っている」と思ったら、間違い。「共産主義との戦い」：ロシア、中国が中心の「共産主義運動」「神仏の封じ込め作戦」を止める。「イスラム圏の改革」：ムハンマドを送ってアッラーの声を聞かせたが、全面的な見直しが必要。3点の発信場所は日本しかない。
- 16 今世は地方に生まれ、他の職業についてから宗教家になった。それは「自助努力の精神」「セルフ・ヘルプ」を身につけてもらいたかったからである。
- 17 次は弟子達が法輪を転じなければ時代である。もっと強い自覚を持って努力せよ。